パッケージ型自動消火設備　②

試験項目				種別・容量等の内容	結果
外観試験			配管	———	
		加圧用ガス	種別		
			ガス量	MPa	
	起動装置	感知部	感知方法	———	
			感知器	———	
		手動起動装置		———	
	受信装置	表示灯・スイッチ		———	
		防護措置		———	
		予備品等		———	
	中継装置			———	
	選択弁	機器等		———	
		外形等		———	
	放出導管	機器等		———	
		設置状況		———	
		配管系路		———	
		耐震措置		———	
	放出口	設置方法	配置等	———	
			配管との接続	———	
			放射障害	———	
		機器等		———	
	電源	常用電源		V	
		非常電源（内蔵型のものに限る。）			
機能試験	作動試験	貯蔵容器、加圧用ガス容器等	作動装置（容器弁開放装置）	———	
			指示圧力計	———	
			バルブ類	———	
			圧力調整器	———	
		選択弁		———	
		起動装置	感知部	———	
			手動起動装置	———	
		受信装置	警報及び表示	———	
			復旧スイッチ	———	

パッケージ型自動消火設備　③

試験項目			種別・容量等の内容	結果
	中継装置		———	
	非常電源	電源自動切替機能	———	
		端子電圧・容量	V　AH	
総合試験	総合作動試験	選択弁作動状況	———	
		音響警報作動状況	———	
備考				

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

2　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3　Ａは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Ｂは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びＣはＡ及びＢ以外のものをいう。

4　結果の欄には、良否を記入すること。

5　非常電源（内蔵型以外のもの）が設置されているものにあっては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。